

第4回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」

実施報告書



＜後列左より＞大塚審査委員、秋田審査委員長、菊川実行委員長、牧二等書記官(在マレーシア日本国大使館)、辻支店長(全日本空輸株式会社クアラルンプール支店)、西尾実行副委員長、佐藤英代様(Tunku Abdul Rahman University College)
＜前列左より＞入賞者 5 名: LIE JOON HEAN, GRACE POOI WENG YAN, SUM CHERN FOUNG, GAN WEN SHUOH, AINURA MUSAEVA TALAIBEK

- 【開催日】 2018 年 9 月 6 日(木) 予選会 13:00～ 本選会 14:10～
- 【会場】 JW Marriott Hotel , Kuala Lumpur
- 【主催】 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
- 【現地運営団体】 A to Z Language Centre
- 【後援】 日本国文部科学省
在マレーシア日本国大使館
全日本空輸株式会社クアラルンプール支店
- 【協賛】 株式会社 共立メンテナンス

<総評>

2015 年より始まった「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」は 2018 年度で第 4 回目を迎えました。

第 4 回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」は 9 月 6 日(木)マレーシア・クアラルンプール市の JW Marriott Hotel, Kuala Lumpur にて開催されました。

一次予選会では、日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などの幅広い分野から、聞き取り問題 30 問が出題されました。コンテスト参加申込者は 30 名で、当日の参加者は 25 名でした。

その後予選会を通過した 15 名が、本選会の 3 分間即興スピーチに進みました。本選会の即興スピーチでは、その場で出された 3 つの課題、

①あなたが日本語を勉強していて難しいと感じる文法(もしくは表現)はなんですか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

②あなたが日本語を勉強しようと思ったきっかけは何ですか。エピソードを交えて話してください。

③あなたの国と日本の文化・習慣で、大きく違う点は何かだと思いますか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

というテーマから 1 つを選択し、5 分間のシンキングタイムの後、3 分間の即興スピーチを行いました。11 名がテーマ②を選択し、テーマ①を選択した人は 1 名、テーマ③を選択した人は 3 人となり、日本語を勉強するきっかけとなったアニメや漫画、日本人歌手への想いを、個性豊かにスピーチしていました。

そして、審査委員 3 名による審査の結果、入賞者 5 名が選ばれ、賞状と賞品目録が授与されました。

入賞賞品としては、2019 年 1 月 20 日(月)～1 月 27 日(月)(7 泊 8 日 1 泊機内泊)の日程で、日本体験旅行に参加する権利を与えられました。

この日本体験旅行で日本の生活や文化を体験し、日本留学の夢を実現する為の旅行にしてもらい、さらなる日本への興味、理解を深めてもらいたいと思います。

<実施報告>

■ 予選会

予選会	13:00～	開会の辞・注意事項説明
	13:05～	予選会 (日本語聞き取り問題 30 問)

日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などについての聞き取り問題 30 問



受付の様子



応募総数 30 名中、25 名が参加
一次予選(聞き取り問題)に挑戦

一次予選成績上位者 15 名が本選会へと進みました！

■ 本選会

本選会	14:10～	予選通過者発表
	14:15～	開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明
	14:20～14:25	シンキングタイム
	14:25～	スピーチ

スピーチ課題

①あなたが日本語を勉強していて難しいと感じる文法(もしくは表現)はなんですか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

②あなたが日本語を勉強しようと思ったきっかけは何ですか。エピソードを交えて話してください。

③あなたの国と日本の文化・習慣で、大きく違う点は何かだと思いますか。具体的な理由や例を挙げて、話してください。

即興スピーチの様子



審査委員からの質疑応答の様子



一番選択者が多かったテーマ②では、日本の漫画・アニメから日本語を勉強するきっかけになった参加者が大多数で、好きなキャラクターへの想いを、エピソードを交えながら個性あふれるスピーチをし、笑い声が会場に響きました。

3 分間の即興スピーチの後に行う審査委員からの質問に対しても、聞かれたことにしっかりと受け答えをし、自身のスピーチをより深みのあるものにしていました。

■ 表彰式

表彰式	15:30～	「夢・日本体験賞」発表(5 名)
-----	--------	------------------

- 式次第**
- 一、開会の辞
 - 一、実行委員長挨拶
 - 一、来賓挨拶
 - 一、審査委員長講評
 - 一、賞状授与
 - 一、奨励賞授与
 - 一、閉会の辞

＜実行委員長 挨拶＞



菊川実行委員長

＜来賓 挨拶＞



二等書記官 牧 俊宏様
(在マレーシア日本国大使館)

＜来賓 挨拶＞



辻 功様
(全日本空輸株式会社
クアラルンプール支店 支店長)

＜審査委員長 講評＞



秋田審査委員長

◆賞状授与◆



入賞者 5 名に菊川実行委員長より
賞状と目録が授与されました。

◆奨励賞授与◆

惜しくも入賞を逃した
一次予選通過者 10 名には、
西尾実行副委員長より奨励賞が授与されました。



入賞者 『夢・日本体験賞』

入賞者 5 名には、『夢・日本体験賞』(7 泊 8 日の日本体験旅行)を贈呈いたしました。

この旅行で、日本の文化や生活を間近に感じ、日本への理解と興味を深め、さらには日本とマレーシアとの交流をより一層強くさせる一助となることを望みます。



氏名	所属学校
サム チェン フォン SUM CHERN FOUNG	ISTIMEWA JAPANESE LANGUAGE CENTRE
ガン ウェン スオ GAN WEN SHUOH	マラヤ大学
リユー ジュン ヘン LIEW JOON HEAN	帝京マレーシア日本語学校
グレース プイ ウェン ヤン GRACE POOI WENG YAN	A TO Z LANGUAGE CENTRE、帝京マレーシア日本語学校
アイヌラ ムサエワ タライベック AINURA MUSAEVA TALAIBEK	SMK PUTRAJAYA PRESINT8(1)

<講評>



審査委員 大塚 博

一般財団法人 共立国際交流奨学財団 奨学金選考委員
元文化服装学院 学務部長

4 回目になる日本語体験コンテストが、9 月 6 日にクアラルンプールで開催されました。応募者 30 名のうち、当日の欠席 5 名を除いた 25 名が予選会に臨みましたが、予選会の出題は相変わらずの難問ぞろい。しかし、最高得点は 24 点と採点者もビックリの高得点でした。全体の正答率も高く、応募者の日本に対する興味、関心の高さがよく解ります。スマホなどの普及が、若者の大好きなアニメ、ゲーム、音楽ばかりでなく、政治や経済、文学などへの興味をも高めているのでしょうか。

本選出場者 15 名に与えられたテーマは、いずれも日本語や日本文化に関することで、例年と比べ取り組みやすいテーマだという印象を受けました。特に「あなたが日本語を学ぶきっかけとなったこと」を選んだ方が圧倒的に多く、組み立てやすく、話しやすいテーマだったと思われます。

第 1 回の日本語体験コンテストを担当して以来 3 年ぶりの審査にあたりましたが、語彙が増え、表現力や文法の正確さが向上したばかりでなく、自分の思いを伝えようという積極的な姿勢が格段に強くなったと思います。スピーチが短すぎたり、言葉につまったりすることも少なく、それぞれが自分の伝えたいことを上手に表現できたのではないのでしょうか。

入賞された 5 名の方は、日本語の日常会話に困ることも少ないでしょうから、体験旅行でできるだけ多くの日本人との会話を楽しんで下さい。他の国々からの参加者とも大いに交流を深めてください。皆さんにとって大きな財産になるでしょう。7 泊 8 日という短い旅行ですが、豊富なメニューが用意されています。皆さんにとって、次のステップを考えるよい機会になります。残念な結果になった皆さんには、また来年があります。ぜひ日本語学習を続け、来年も挑戦されるよう期待しています。